

平成25年度安城市版事業仕分けを実施します



市が実施している事務事業（公共サービス）について、予算削減ありきではなく、事業の必要性や事業手法が適切かどうかを市民とともに考えるために、事業仕分けを実施します。

実施日 8月24日（土）・25日（日）

【1 会場】 文化センター大会議室

【2 事業数】 14事業（1日 7事業×2日間）

【3 仕分けに参加する人】

コーディネーター：1名、仕分け人：5名、

市民判定人：20人程度

【4 仕分け時間】

- ① 担当課による事業説明（5分）
- ② 仕分け人による質疑応答・議論（30分）
- ③ 仕分け判定及び判定結果発表（5分）
- ④ 市民判定人の意見発表・コーディネーター講評（5分）

市民目線の仕分けを行います。どなたでも傍聴できます！



事業選定

【1次選定】 約800事業⇒約200事業

・全事務事業（約800事業）から、選定基準（事業の継続性や予算規模等）により200事業程度を抽出します。（2月）

【2次選定】 約200事業⇒25事業

・1次選定事業から市として外部の視点で意見を聞く必要があると考えられる25事業を選定します。（3月）

【3次選定】 25事業⇒7事業（確定）

・2次選定事業から事業仕分け委員会^{※1}で仕分け対象となる7事業を選定します。（5月）

※1 市内団体の方及び構想日本スタッフなどで構成し、事業選定から仕分け結果の市取組方針の妥当性の検証を行う組織です。

【4次選定：eモニター等による市民投票】

18事業⇒7事業（確定）

・3次選定後の18事業からeモニター^{※2}の方などに対象事業を投票いただき、その結果を踏まえて7事業を選定します。3次選定の7事業と併せて14事業が決まります。（5月）

※2 インターネットと電子メールを利用してあらかじめ登録された市民の方にアンケートをお答えいただく制度です。

事前準備

【1 市民判定人募集】（5月）

・18歳以上の市民から無作為で抽出された2,000人に対して、市民判定人を40人程度募集します。

【2 模擬仕分け】（7月～8月）

・仕分け人、市民判定人、市職員を対象に事業仕分けの概要、調査のポイントなどについての研修を行います。
・研修内容を踏まえて、本番同様に模擬仕分けを行います。

【3 仕分け人等研修会】（7月～8月）

・仕分け人を対象に、対象事業の論点整理・関連施設の見学を行います。
・市民判定人を対象に、関連施設の見学を行います。

仕分け後

【取組方針の策定】

- ① 担当課にて、仕分け結果を踏まえた取組方針案を策定します。（8月～9月）
- ② 事業仕分け委員会にて取組方針案の妥当性を審議します。（10月）
- ③ 事業仕分け委員会の意見を踏まえた取組方針を策定します。（11月）
- ④ 取組方針を公表します。（11月）

事業選定から仕分け後の取組方針までのプロセス全てを市民にお知らせします！

